

## 星槎大学ホームページ「情報公開」

<https://seisa.ac.jp/about/report/>通信制課程  
共生科学部[お問い合わせ](#) [スクーリング](#) [企業・教育機関の皆様へ](#)  
[デジタルパンフレット](#) [サイトマップ](#) [学生ポータルサイト](#)

JA / EN

[星槎大学について](#)[共生科学部・専攻](#)[教員免許状・資格](#)[入学案内](#)[Web出願](#)[資料請求](#)[HOME](#) > [星槎大学について](#) > [情報公開](#)

## 情報公開

## 星槎大学の教育研究活動等について

学校教育法施行規則第172条の2第1項に基づき、星槎大学の教育研究活動等について公表いたします。

## 大学機関別認証評価



星槎大学は、平成29(2017)年度に財団法人日本高等教育評価機構による認証評価を受け、平成30(2018)年3月、「評価機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定されました。本学では、今回の評価結果も踏まえ、教育・研究活動の更なる充実に努めるとともに、建学の精神に基づき、その使命を果たしてまいります。

認証評価結果に対する改善報告書は、公益財団法人日本高等教育評価機構大学機関別認証評価に関する規程に基づき、平成30年7月に提出しました。

[財団法人日本高等教育評価機構のホームページ](#)に公表されています。

## 評価報告書

[平成22年度 大学機関別認証評価 評価報告書 PDF](#)[平成29年度 大学機関別認証評価 評価報告書 PDF](#)

## 自己評価報告書

[平成22年度 自己評価報告書 PDF](#)[平成26年度 自己点検評価報告書 PDF](#)[平成29年度 自己点検評価報告書 PDF](#)[令和2年度 自己点検評価報告書 PDF](#)

## 改善報告書

平成29年度認証評価結果に対する改善報告書（平成30年7月提出） [PDF](#)



## 大学の教育上の目的に関すること

星槎の心・教育理念・設立主旨



学則（本学の教育理念と目的） [PDF](#)



## 教育研究上の基本組織に関すること

教育研究組織・事務局組織 [PDF](#)



法人の沿革 [PDF](#)



## 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

教員数等 [PDF](#)



専任教員の紹介／学位・研究業績等



実務家教員一覧 [PDF](#)



## 入学者に関する受入方針及び入学者の数

募集要項 [PDF](#)



学生数・卒業者数等 [PDF](#)



## 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

カリキュラム・開講科目・シラバス



年間スクーリングスケジュール



## 教員の養成の状況

教員の養成の目標及び目標を達成するための計画 <a href="#">PDF</a>	>
教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目 <a href="#">PDF</a>	>
教員の養成に係る授業科目 <a href="#">PDF</a>	>
授業科目ごとの授業の方法及び内容	>
年間の授業計画（スクーリングスケジュール）	>
卒業者の教員免許状取得及び教員就職状況 <a href="#">PDF</a>	>
教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組み <a href="#">PDF</a>	>
星槎大学令和4年度「教職課程自己点検評価報告書」 <a href="#">PDF</a>	>
星槎大学令和4年度「教職課程自己点検評価完了証」 <a href="#">PDF</a>	>
基準領域1 <a href="#">PDF</a>	>
基準領域2 <a href="#">PDF</a>	>
基準領域3 <a href="#">PDF</a>	>

2020卒業生アンケート <a href="#">PDF</a>	>
2019卒業生アンケート <a href="#">PDF</a>	>

## 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

キャンパス・スクーリング会場	>
星槎大学 耐震化率 <a href="#">PDF</a>	>

## 授業料、入学金、その他費用に関すること

授業料等の学納金	>
----------	---

## 公的研究費等の適正管理について

### 公的研究費等の管理・監査及び研究活動における不正行為の防止に関する取組みについて

星槎大学では、「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」の（2014年2月18日改正）の趣旨を踏まえ、本学における公的研究費等の適正な管理・運営に努めるとともに、不正使用の防止に向けた取組みを推進してまいります。また、「研究活動における不正行為への対応などに関するガイドライン」（2014年8月26日）の趣旨を踏まえ、本学における研究活動上の不正行為の防止に努めます。

## 不正防止に対する取組み

研究倫理規範 <a href="#">PDF</a>	>
研究活動上の不正行為等の防止に関する規程 <a href="#">PDF</a>	>
公的研究費の適正管理に関する規程 <a href="#">PDF</a>	>
公的研究費の不正使用への対応に関する規程 <a href="#">PDF</a>	>
不正使用防止計画 <a href="#">PDF</a>	>

## 文部科学省

研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）（令和3年2月1日改正） <a href="#">📄</a>	>
研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン（平成26年8月26日） <a href="#">📄</a>	>
ガイドラインに関するよくある質問と回答例（FAQ）等 <a href="#">📄</a>	>

## 日本学術振興会

科研費ハンドブック <a href="#">PDF</a>	>
科学研究費補助金使用ルール <a href="#">📄</a>	>

## 取引業者の皆さまへ

「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」において、取引業者に対して不正な取引に関与しない旨を記載した誓約書等の提出を求められており、本学においても一定以上の取引のある業者においては、以下の誓約書の提出をお願いすることとしております。お手数ではございますが、上記趣旨をご理解のうえ、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

誓約書 <a href="#">PDF</a>	>
-------------------------	---

## 大学等における修学の支援について

大学等における修学の支援 更新確認申請書 <a href="#">PDF</a>	>
--	---

## ハラスメント防止への取り組み

「安心して気持ちよく学修と仕事に取り組める星槎大学」ポジティブ・アクション宣言 <a href="#">PDF</a>	>
ハラスメント防止に関する規程 <a href="#">PDF</a>	>
ハラスメント防止ガイドライン <a href="#">PDF</a>	>
ハラスメント防止体制 <a href="#">PDF</a>	>
ハラスメント申立書 <a href="#">Word</a>	>

## 障害を理由とする不当な差別の解消に関する基本方針について

障害を理由とする差別の解消に関する基本方針 [PDF](#)



障害を理由とする差別の解消に関する基本方針に関する留意事項 [PDF](#)



## 寄附行為

学校法人 国際学園 寄附行為 [PDF](#)



## 役員名簿

学校法人 国際学園 役員名簿 [PDF](#)



## 財務情報

令和4年度（2022年度）財務情報 [PDF](#)



## 監査報告

令和4年度（2022年度）監査報告書 [PDF](#)



## 事業報告他

令和3年度（2021年度）事業報告書 [PDF](#)



令和4年度（2022年度）ファクトブック [PDF](#)



# 星槎大学 教職課程履修の手引

## 2022 年度版





## 教職課程の履修にあたっての留意点

- ◆ 教職課程の履修にあたって、『星槎大学 教職課程履修の手引』を熟読してください。なお、最新の年度の手引をご使用ください。
- ◆ 教職に関する最新かつ重要な情報は学生ポータルサイトの「教職課程登録者用ページ」にてお知らせします。必ず定期的に該当ページを確認してください。

## はじめに

### 星槎大学・大学院「教員養成の理念」

星槎大学共生科学部における教員養成の理念は以下のとおりである。

#### 【星槎大学共生科学部 教員養成の理念】

星槎大学共生科学部共生科学科は、人と人と、あるいは人と自然とが共生する社会の創造に貢献することを目的とした「共生」という建学の精神をふまえ、21世紀に適應する広い知力の育成、心の耕作、課題探求能力育成を主要な柱として、それを教育理念としている。

その人材養成目標は、次代へと続く共生社会に寄与する人材の輩出にある。

共生社会の創造に貢献するために、子どもたちへ本学で学修したことを伝えていくことができる人材を輩出することが、本学における教員養成の理念である。

この理念をふまえ、星槎大学大学院教育学研究科教育学専攻における教員養成の理念は以下のとおりである。

#### 【星槎大学大学院教育学研究科教育学専攻 教員養成の理念】

星槎大学大学院「教育学研究科教育学専攻」は、建学の精神に則り、教育の高度な学術研究を通じて、教育の各分野・領域に内在する次世代に繋ぐ教育の深奥な専門的知識・技能を培い、その卓越した能力を発揮することにより、教育における課題解決をもって共生社会の進展に貢献できる人材を養成していくことを目的とする。

また、すでに社会人経験等がある者に対して、本学教育学研究科教育学専攻で学ぶことにより、その社会人経験を教育の現場に活かすことができる教員の養成を実現することを構想している。

また同様に、星槎大学大学院教育実践研究科教育実践専攻における教員養成の理念は以下のとおりである。

#### 【星槎大学大学院教育実践研究科教育実践専攻 教員養成の理念】

星槎大学大学院「教育実践研究科教育実践専攻」では、広義の教員として、小・中・高の学校教員ならびに専門学校等の現職教員の資質・能力向上と、教員を目指す社会人の教育力の向上を目指すこととし、教員養成の理念としている。

養成する教員像としては、「教育の現場において起こる諸課題を適確に理解して対応でき、また学修者の特性を理解した上での適切な指導ができる教員」を挙げており、特に学校教員においては「教科指導力を持ちキャリア教育や学校特有の問題に対応できる能力を持った教員」を想定している。

### 星槎大学・大学院「教職課程の設置の趣旨」

星槎大学共生科学部における教職課程の設置の趣旨は以下のとおりである。

#### 【星槎大学共生科学部 教職課程の設置の趣旨】

星槎大学は、「建学の精神」「教育理念」を「教員養成に対する理念」の基礎としている。

本学が教職課程を設置する趣旨は、それらを具現化することにある。具体的には、以下のような教員を養成することにある。

- (1) 21世紀の変化に応じた知識・技能の絶えざる刷新を指向する教員の養成
- (2) 共生する心を耕作することのできる教員の養成
- (3) 課題探求能力をもった教員の養成
- (4) 発達障害児等を指導する能力をもった教員の養成

また、本学校法人の建学の精神である「社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、



それを成し遂げる」ということと、教育理念である「必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現を目指し、それを成し遂げる」というものは、本学設置の大元にあるものであり、全ての教育活動に共通するものである。

この設置の趣旨をふまえ、星槎大学大学院教育学研究科教育学専攻における教職課程の設置の趣旨は以下のとおりである。

**【星槎大学大学院教育学研究科教育学専攻】**

教育学研究科教育学専攻では、共生科学部の教職課程の設置の趣旨を基礎として、学校教育（小学校、特別支援学校）において十分貢献できる次のような教員を養成する。

「小学校教育（小学校教諭専修免許）」

- (1) 高度な授業実践力を備えた中堅教員の養成
- (2) 「特別な教育的ニーズ」をもつ児童に対応する専門的力量を備えた教員の養成
- (3) 学校現場が抱える諸課題を解決できる高度な実践力を備えた指導的役割を果たす教員の養成
- (4) 社会人経験等を教育の現場に活かすことができる教員の養成

「特別支援学校教育（特別支援学校教諭専修免許）」

- (1) 子どもの一人一人の教育的ニーズを把握し適切な教育的支援を行える教員の養成
- (2) 地域社会や住民との連携・協力をしながら専門的力量を備えた教員の養成
- (3) 学校教育を巡る複雑で多様な課題に柔軟に対応できる実践力を備えた教員の養成

また同様に、星槎大学大学院教育実践研究科教育実践専攻における教職課程の設置の趣旨は以下のとおりである。

**【星槎大学大学院教育実践研究科教育実践専攻 教職課程の設置の趣旨】**

教育実践研究科教育実践専攻では、共生科学部の教職課程の設置の趣旨を基礎として、学校教育（小学校、中学校、高等学校）において十分貢献できる次のような教員を養成する。

教員に求められる能力として、第一は教員という専門職として生きる上での「専門職性」であり、第二は教員としての現代社会の理解、すなわち教育課題の把握と理解とその課題への対応能力であり、第三は本研究科が主眼とするインストラクションの能力の3つの能力が重要であると考えている。

第一に専門職性の観点では、専門職として倫理規範をもち、職能開発を続けていけることが重要となる。

第二に教育課題の理解の点では、5つの観点がある。それは、①アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善、②ICTを用いた指導法、③道徳教育の充実、④外国語教育の充実、⑤特別支援教育の充実である。

第三にインストラクションの観点では、授業の設計・実行・評価、あるいはファシリテーションなどの展開技術といったすべての教員に必要な部分である。

以上の3点を踏まえて、養成しようとする教員像は次の通りである。

- ①教育の諸課題を適確に理解して対応できる教員
- ②学習者の特性を理解しつつ、自身の専門領域で確固たる指導力を持つ教員
- ③キャリア教育や学校特有の問題に対応できる能力を持った教員

## 教職課程登録費用

「教職課程登録費」及び「教育実習費」については、星槎大学教職課程履修規程第8条により下表のとおり定められている。納入期日については、「教職課程登録費」は教職課程登録時（主として入学時）に、「教育実習費」は教育実習実施年度4月以降の請求時となる。

※なお、大学院が開設する教職課程においては「教職課程登録費」は発生しない。

項目	金額	備考
教職課程登録費	10,000円	教職課程を履修する者（教育実習の実施の有無を問わない）
教育実習費	50,000円	全校種一律

※「教職課程登録申込書（兼）調査書」の提出をした者は定められた期日までに「教職課程登録費」を納入しなければならない。一旦納入した教職課程登録費用については、返金しない（星槎大学教職課程履修規程第8条より）。

※教育実習科目の学費（授業料およびスクーリング受講料）とは別に、「教育実習費」の納入が必要である（給食費は教育実習費に含まれない）。

※初等教育専攻の「教職課程登録費」は、専攻登録料としての納入となる。

## 目次

<b>第1章 取得できる教員免許状の校種・教科</b> .....	<b>7</b>
1 取得できる教員免許状（学部）	
2 取得できる教員免許状（研究科）	
3 教員免許状の取得方法	
<b>第2章 教職課程の科目の履修（専攻別）</b> .....	<b>9</b>
1 初等教育専攻	
1) 幼稚園教諭1種免許状	
2) 小学校教諭1種免許状	
3) 教育実習履修要件	
2 共生科学専攻	
1) 中学校教諭1種免許状（社会）	
2) 高等学校教諭1種免許状（地理歴史）	
3) 高等学校教諭1種免許状（公民）	
4) 特別支援学校教諭1種免許状 （知的障害者・肢体不自由者・病弱者）	
5) 教育実習履修要件	
3 スポーツ身体表現専攻	
1) 中学校教諭1種免許状（保健体育）	
2) 高等学校教諭1種免許状（保健体育）	
3) 教育実習履修要件	
4 グローバルコミュニケーション専攻	
1) 中学校教諭1種免許状（英語）	
2) 高等学校教諭1種免許状（英語）	
3) 教育実習履修要件	
<b>第3章 教員免許状取得までの流れ</b> .....	<b>47</b>
1 スケジュール	
2 重要事項	
<b>第4章 教職ガイダンス・教育実習内諾活動事前面接</b> .....	<b>49</b>
1 教職ガイダンス等	
2 教育実習内諾活動事前面接	

<b>第5章</b>	<b>介護等の体験（小学校・中学校免許状取得希望者のみ）</b>	… 50
1	介護等の体験の趣旨	
2	介護等の体験の概要	
3	介護等の体験の留意事項	
4	介護等の体験の実施依頼	
5	介護等の体験実施証明書	
6	介護等の体験のその他の注意事項	
7	介護等の体験の実施までの流れ	
8	介護等の体験の問い合わせ窓口	
<b>第6章</b>	<b>教育実習内諾活動</b>	… 53
1	教育実習内諾活動の概要	
2	内諾活動（配当含む）開始の条件	
3	配当等（教育委員会等を通して教育実習の依頼申請等を行う必要がある場合）	
4	留意点	
5	教育実習内諾活動のポイント	
<b>第7章</b>	<b>教育実習</b>	… 56
1	教育実習の意義	
2	教育実習の目的	
3	教育実習の内容	
4	教育実習の履修資格	
5	教育実習校の選定	
6	教育実習科目の履修登録と履修の注意点	
7	教育実習の期間	
8	教育実習事前確認（オリエンテーション含む）	
9	教育実習の心得・注意点	
<b>第8章</b>	<b>教職実践演習</b>	… 61
1	教職実践演習の概要	
2	教職実践演習の履修科目登録の要件	
3	教職実践演習のスクーリング受講の要件	
4	事前提出課題	
<b>第9章</b>	<b>教員採用試験</b>	… 66
1	公立学校への就職	
2	私立学校への就職	
3	教員採用試験対策講座	

<b>第10章 教員免許状申請</b> .....	<b>67</b>
1 個人申請（対象：全学生）	
2 一括申請（対象：条件を満たす一部学生）	
3 教員免許状にかかわる証明書の発行	
4 他大学で修得した一部の教職課程の科目の単位認定〈正科生かつ編入生のみ対象〉	
<b>第11章 教職課程の科目の履修（修士課程・専門職学位課程）</b> …	<b>70</b>
<b>第12章 星槎大学 教職課程履修規程</b> .....	<b>72</b>
<b>【各種様式・チェックリスト】</b>	<b>90</b>
・【重要】教育実習実施申請（Web）・「教職課程履修計画書」提出（Web）時のチェックリスト	
・介護等体験 実施申請書	
・他大学で修得した一部の教職課程の科目の単位認定申請書〈正科生かつ生のみ対象〉	

※本冊子『星槎大学 教職課程履修の手引』のことを本文中では『手引』と表記する。

※科目表中の科目名のローマ数字「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」「Ⅳ」は科目の履修の順番を示す。例として「Ⅰ」を履修しないと「Ⅱ」は履修することはできない。（同時履修は妨げない。ただし、同時履修した場合であっても、各科目のレポート、スクーリング、科目修得試験のそれぞれの学修は、「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」「Ⅳ」の科目の履修の順番どおりに進めること）。

※科目表中の「単位数」の「SC」は、「スクーリング」を意味し、面接授業およびメディアを利用した授業を指す。

## 星槎大学 教職ガイダンス・内諾活動事前面接実施要領 (2022 年度 4 月実施)

担当：浅見・大隅・堀川・事務局

## 【目的】

次のことを説明し、理解してもらう。

## &lt;教職課程ガイダンス&gt;

- 星槎大学の「教員養成の理念」を理解し、教職に就くことの責任を自覚する。
- 教職課程における履修から教員免許申請までの流れについて、その概要を理解する。
- 在学中の学修計画を立て、学修上の努力と自己研鑽を積む心構えを身につける。

## &lt;内諾活動ガイダンス&gt;

- 教育実習の意義と実習依頼時の心構え、マナーを確認する。
- 教育実習実施に関する申請、履修要件、内諾を得るまでの流れ等を理解する。

## &lt;教育実習ガイダンス&gt;

- 教育実習の目的を考え確認する。
- 教育実習の心構えを理解する。
- 教育実習中の諸注意を考え確認する。

## &lt;内諾活動事前面接&gt;

- 教育実習実施の適性等を確認する。

## 【実施方法・日時・対象者】

項目	①教職課程ガイダンス		②内諾活動 ガイダンス	③教育実習 ガイダンス	④内諾活動 事前面接
	(a) 教育的事項	(b) 事務的事項			
実施方法	Web ライブ (Zoom)	オンデマンド	オンデマンド	オンデマンド	Web ライブ (Zoom)
日程	4月24日(日)	4月4日(月)～ 4月17日(日) ※視聴期間(予定)	4月4日(月)～ 4月17日(日) ※視聴期間(予定)	4月4日(月)～ 4月17日(日) ※視聴期間(予定)	4月24日(日)
時間	12:30～14:00 ※教職員打ち合 わせは 12:00～ 12:15	—	—	—	15:00～18:00 ※教職員打ち 合わせは 14:30～14:45
対象者	本学で教職課程 の履修を開始す る学生	本学で教職課程の 履修を開始する学 生	次年度に教育実習 の実施を希望する 学生	教育実習実施年度 の学生	次年度に教育 実習の実施を 希望する学生

※会場での実施はありません。

※介護等体験ガイダンスは、別途、オンデマンド方式で実施する。

**【担当者】** ※敬称略

教員（委員）：手島、高木、嶋田、西村、仲、堀川、齋藤（憲）、齋藤（や）、大和、秋澤、浅見、大隅（面接）

※①-（a）と④は必須、①-（b）と②と③はオンデマンド方式のため出席不要

※◆の付された先生は、第1部のグループワーク時に3つのグループの指導を担当

教員（委員以外）：丸本（面接）、樫永（ガイダンス+面接）、小西（面接）、桑原（面接）、天利（智）（面接）、

松崎（面接）、渡邊（面接）、今井（面接）、北村（面接）

職員：教職総合支援センター事務局職員

【時程】

日程：2022年4月24日（日）			
①- (a) 教職課程ガイダンス（教育的事項）			
時間	項目	担当	内容
12:00	学生接続テスト 教職員打ち合わせ	教職事務職員 運営委員の全 先生	音声映像確認 教職員全員集合。グループディスカッションでの対応につ いての確認
12:30～ 12:35	開講アナウンス	浅見先生	司会・進行。教職課程ガイダンスの流れについてのアナウ ンス
12:35～ 12:45	挨拶～教職につい て	手島先生	・教職を目指すことについて ・星槎大学の「教員養成の理念」について
12:45～ 13:35	グループディスカ ッション	司会：堀川先 生 対応：運営委 員の全先生	グループディスカッション テーマ：「私の目指す教師像とその理由」 ※学生約10名で1グループの予定（当日の出席人数によ り異なる）。運営委員の先生は一人あたり2～3グループを 担当し、適宜助言する。
13:35～ 13:50	発表	堀川先生	指名されたグループ（上限7グループ）の代表者がディス カッションの内容を発表 ※発表時間は1グループ2分程度（厳守）
13:50～ 13:55	まとめ	堀川先生	ガイダンス、グループディスカッションの振り返り
13:55～ 14:00	アンケートの案内 /散会	事務局職員	Webフォームからのアンケート提出の案内 ※質疑応答なし
14:00～ 14:30	休憩	—	—
④ 内諾活動事前面接			
時間	項目	担当	内容
14:30～ 14:45	教職員打ち合わせ	運営委員の全 先生	面接の流れ、評価の指標等についての確認
15:00～ 18:00	面接	担当教員（全 校種）	面接 ※1人10分（面接8分+評価票入力2分） ※面接ごとに評価票（後掲のWebフォーム）に所見記入 （全面接終了後にまとめて入力することも可）
終了後	面接の所見提出	担当教員 （全校種）	教職総合支援センターに提出（Webフォーム） ※提出期限：面接翌日まで



## 【内諾活動事前面接】

### 留意点

- 1人10分（面接8分+評価票入力2分） ※10分ごとに新たな面接者を案内
- 予約制（時間帯での申し込み） ※30分ごとの枠で申し込みを受け付ける。

### 【準備】

#### スケジュール

期日	内容
4月18日（月）	教職総合支援センター委員へ実施要項（暫定）送付
4月22日（金）	教職総合支援センター委員へ実施要項（最終）、面接名簿・面接官手持資料の送付 会場準備

#### 準備物

内容	配布対象	回収	備考
出欠名簿	—	—	各ガイダンス、面接ごとの出欠を確認し記入
アンケート（URL）	申込者全員	前日まで （Web フォーム）	メール配信

以上

## 2022 年度教職課程における科目別担当教員 一覧

## &lt; 共生科学部 &gt;

## ○領域及び保育内容の指導法に関する科目（幼稚園）

科目名	担当者
教科（国語）	嶋田優教授
教科（算数）	永井礼正教授
教科（生活）	兼任教員
教科（音楽）	坂田映子教授
教科（図画工作）	樫永卓三教授・兼任教員
教科（体育）	兼任教員
保育内容の指導法（健康）	兼任教員
保育内容の指導法（人間関係）	兼任教員
保育内容の指導法（環境）	兼任教員
保育内容の指導法（言葉）	嶋田優教授
保育内容の指導法（音楽表現）	坂田映子教授
保育内容の指導法（造形表現）	樫永卓三教授・兼任教員
保育内容の指導法（総合演習）	兼任教員

## ○教育の基礎的理解に関する科目（幼稚園）

科目名	担当者
教育原理（初等）	兼任教員
教職概論（初等）	天野一哉教授
教育経営・学校安全論（初等）	兼任教員
教育心理学（初等）	兼任教員
特別の支援を必要とする幼児・児童の理解	土岐玲奈講師・岩澤一美准教授
教育課程論（初等）	兼任教員
教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（初等）	斎藤俊則准教授・仲久徳教授
幼児理解の理論と方法	兼任教員
教育相談（初等）	兼任教員
教育実習（初等）（1）	嶋田優教授・齋藤憲子教授・坂田映子教授
教育実習（初等）（2）	嶋田優教授・齋藤憲子教授・坂田映子教授
教職実践演習（初等）	嶋田優教授・齋藤憲子教授・兼任教員

## ○教科及び教科の指導法に関する科目（小学校）

科目名	担当者
教科（国語）	嶋田優教授
教科（社会）	兼任教員
教科（算数）	永井礼正教授
教科（理科）	浅見奈緒子准教授
教科（生活）	兼任教員
教科（音楽）	坂田映子教授
教科（図画工作）	樫永卓三教授・兼任教員
教科（家庭）	齋藤憲子教授
教科（体育）	兼任教員
教科（外国語）	兼任教員

初等教科教育法（国語）	嶋田優教授
初等教科教育法（社会）	兼任教員
初等教科教育法（算数）	金子肇教授
初等教科教育法（理科）	西村哲雄教授・兼任教員
初等教科教育法（生活）	兼任教員
初等教科教育法（音楽）	坂田映子教授
初等教科教育法（図画工作）	檜永卓三教授・兼任教員
初等教科教育法（家庭）	齋藤憲子教授
初等教科教育法（体育）	兼任教員
初等教科教育法（外国語）	兼任教員

○教育の基礎的理解に関する科目（小学校）

科目名	担当者
教育原理（初等）	兼任教員
教職概論（初等）	天野一哉教授
教育経営・学校安全論（初等）	兼任教員
教育心理学（初等）	兼任教員
特別の支援を必要とする幼児・児童の理解	土岐玲奈講師・岩澤一美准教授
教育課程論（初等）	兼任教員
道徳の理論・指導法（初等）	大隅心平教授
総合的な学習の時間の指導法（初等）	兼任教員
特別活動の指導法（初等）	兼任教員
教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（初等）	齋藤俊則准教授・仲久徳教授
生徒・進路指導論（初等）	大隅心平教授
教育相談（初等）	兼任教員
教育実習（初等）（1）	嶋田優教授・齋藤憲子教授・坂田映子教授
教育実習（初等）（2）	嶋田優教授・齋藤憲子教授・坂田映子教授
教職実践演習（初等）	嶋田優教授・齋藤憲子教授・兼任教員

○大学が独自に設定する科目（幼稚園／小学校）

科目名	担当者
生涯学習論	三輪建二教授
発達障害概論	西永堅教授
持続可能な開発のための教育（ESD）	兼任教員
世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	兼任教員
ワーク・ライフ・バランス論	兼任教員
授業実践演習（初等）	仲久徳教授
アクティブラーニング演習	天野一哉教授
多様な幼児・児童の支援演習	阿部利彦教授
学校ボランティア（初等）Ⅰ	嶋田優教授・齋藤憲子教授・坂田映子教授
学校ボランティア（初等）Ⅱ	嶋田優教授・齋藤憲子教授・坂田映子教授

○教科及び教科の指導法（中学社会）

科目名	担当者
歴史概説Ⅰ	堀川徹講師

歴史概説Ⅱ	兼任教員
アジアの近代と社会	兼任教員
地理概説Ⅰ	兼任教員
地理概説Ⅱ	兼任教員
風土と内発的発展	鬼頭秀一教授
地理情報システム（GIS）演習	兼任教員
法学Ⅰ	兼任教員
法学Ⅱ	兼任教員
国際法	兼任教員
国際関係論	大嶋英一教授
環境法	兼任教員
政治学	兼任教員
社会学	細田満和子教授
経済学	兼任教員
医療社会学	細田満和子教授
比較文化論	伊藤玄二郎教授
環境社会学	保屋野初子教授
国際ジャーナリズム論	佐々木伸教授
問題解決のための国際協働論	坪内俊憲教授
哲学・倫理学	兼任教員
宗教学	兼任教員
環境倫理	鬼頭秀一教授
公共哲学	山脇直司教授
公共演習	山脇直司教授
平和演習	兼任教員
人権演習	兼任教員
社会科・公民科指導法Ⅰ	手島純教授
社会科・公民科指導法Ⅱ	手島純教授
社会科・公民科指導法Ⅲ	手島純教授
社会科・公民科指導法Ⅳ	手島純教授

○教科及び教科の指導法（高校地歴）

科目名	担当者
日本史Ⅰ	堀川徹講師
日本史Ⅱ	堀川徹講師
日本史演習	堀川徹講師
歴史概説Ⅰ	堀川徹講師
外国史Ⅰ	兼任教員
外国史Ⅱ	兼任教員
外国史演習	兼任教員
歴史概説Ⅱ	兼任教員
アジアの近代と社会	兼任教員
人文地理学	兼任教員
自然地理学	兼任教員
地理概説Ⅰ	兼任教員
地理概説Ⅱ	兼任教員
地理情報システム（GIS）演習	兼任教員

地誌概論	兼任教員
地誌	兼任教員
風土と内発的発展	鬼頭秀一教授
地理歴史科指導法Ⅰ	兼任教員
地理歴史科指導法Ⅱ	兼任教員

○教科及び教科の指導法（高校公民）

科目名	担当者
法学Ⅰ	兼任教員
国際法	兼任教員
法学Ⅱ	兼任教員
国際関係論	大嶋英一教授
環境法	兼任教員
政治学	兼任教員
社会学	細田満和子教授
経済学	兼任教員
医療社会学	細田満和子教授
比較文化論	伊藤玄二郎教授
環境社会学	保屋野初子教授
国際ジャーナリズム論	佐々木伸教授
問題解決のための国際協働論	坪内俊憲教授
哲学・倫理学	兼任教員
宗教学	兼任教員
心理学（１）	兼任教員
心理学（２）	兼任教員
公共哲学	山脇直司教授
環境倫理	鬼頭秀一教授
公共演習	山脇直司教授
平和演習	兼任教員
人権演習	兼任教員
社会科公民科指導法Ⅰ	手島純教授
社会科公民科指導法Ⅱ	手島純教授
社会科公民科指導法Ⅲ	手島純教授
社会科公民科指導法Ⅳ	手島純教授

○教科及び教科の指導法（中学保健体育及び高校保健体育）

科目名	担当者
体づくり運動	高木由起子講師・兼任教員２名
器械運動	兼任教員４名
陸上	秋澤一輝助教授・渋谷聡教授・兼任教員３名
水泳	高木由起子講師・兼任教員５名
サッカー	兼任教員５名
バレーボール	渋谷聡教授・兼任教員２名
野球	兼任教員３名
柔道	兼任教員４名
ダンス	兼任教員４名

バドミントン	兼任教員 3 名
スポーツ原理	兼任教員
スポーツ心理学	渋谷聡教授・兼任教員
スポーツ経営管理論	兼任教員
スポーツ社会学	兼任教員
体育史	兼任教員
運動学	兼任教員
生理学	兼任教員
スポーツ生理学	兼任教員
解剖学	兼任教員
衛生学	兼任教員
公衆衛生学	細田満和子教授
学校保健概論	兼任教員
救急処置法	兼任教員
陸上演習	渋谷聡教授・秋澤一輝助教
球技演習	高木由起子講師・兼任教員
武道演習	兼任教員
ダンス演習	兼任教員 3 名
保健体育科指導法 I	渋谷聡教授・兼任教員 2 名
保健体育科指導法 II	高木由起子講師・兼任教員 2 名
保健体育科指導法 III	渋谷聡教授・兼任教員 2 名
保健体育科指導法 IV	高木由起子講師・兼任教員

○教科及び教科の指導法（中学英語及び高校英語）

科目名	担当者
英語学概論 I	兼任教員
英語学概論 II	兼任教員
英語文学論 (1)	兼任教員
英語文学論 (2)	兼任教員
英語文学講読 (1)	兼任教員
英語文学講読 (2)	兼任教員
実践英語コミュニケーション I	ダニエル・ジョセフ・ウッズ准教授
実践英語コミュニケーション II	平岡麻里教授
英語表現 (writing)	ダニエル・ジョセフ・ウッズ准教授
英語表現 (conversation)	平岡麻里教授
英語表現 (presentation)	ダニエル・ジョセフ・ウッズ准教授
異文化理解	大和洋子教授
異文化間コミュニケーション	ダニエル・ジョセフ・ウッズ准教授
国際関係論	大嶋英一教授
比較文化論	伊藤玄二郎教授
国際ジャーナリズム論	佐々木伸教授
英語演習 (1)	平岡麻里教授
英語演習 (2)	大和洋子教授
英語科指導法 I	大和洋子教授
英語科指導法 II	兼任教員

英語科指導法Ⅲ	兼任教員
英語科指導法Ⅳ	大和洋子教授

○教育の基礎的理解に関する科目（中等）

科目名	担当者
教育原理（中等）	兼任教員
教職概論（中等）	手島純教授
教育経営・学校安全論（中等）	兼任教員
教育心理学（中等）	仁平義明教授
特別の支援を必要とする生徒の理解	斎藤やす子准教授・岩澤一美准教授
教育課程論（中等）	兼任教員
道徳の理論・指導法（中等）	兼任教員
総合的な学習の時間の指導法（中等）	兼任教員
特別活動の指導法（中等）	兼任教員
教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（中等）	仲久徳教授・斎藤俊則准教授
生徒・進路指導論（中等）	兼任教員 2 名
教育相談（中等）	斎藤やす子准教授
教育実習（中等）Ⅰ（1）	斎藤やす子准教授・兼任教員
教育実習（中等）Ⅰ（2）	斎藤やす子准教授・兼任教員
教育実習（中等）Ⅱ	斎藤やす子准教授・兼任教員
教職実践演習（中等）	渋谷聡教授・高木由起子講師・手島純教授・大和洋子教授・兼任教員 2 名

○大学が独自に設定する科目（中等）

科目名	担当者
生涯学習論	三輪建二教授
発達障害概論	西永堅教授
持続可能な開発のための教育（ESD）	兼任教員
世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	兼任教員
ワーク・ライフ・バランス論	兼任教員
授業実践演習（中等）	仲久徳教授
アクティブラーニング演習	天野一哉教授
多様な生徒の支援演習	阿部利彦教授
学校ボランティア（中等）Ⅰ	斎藤やす子准教授・兼任教員
学校ボランティア（中等）Ⅱ	斎藤やす子准教授・兼任教員

○特別支援学校（知・肢・病）

科目名	担当者
特別支援教育論	千田光久教授
障害児教育総論	兼任教員
知的障害児・者の心理・生理・病理	伊藤一美准教授
肢体不自由児・者の心理・生理・病理	兼任教員
病弱児・者の心理・生理・病理	兼任教員
知的障害児・者への支援	西永堅教授
肢体不自由児・者への支援	兼任教員
病弱児・者への支援	兼任教員
知的障害教育総論	兼任教員

肢体不自由教育総論	兼任教員
病弱教育総論	兼任教員
自閉症児・者の心理	兼任教員
自閉症児・者への支援	兼任教員
聴覚障害教育総論	兼任教員
視覚障害教育総論	兼任教員
発達障害概論	西永堅教授
発達障害教育指導法（１）	古川潔講師・兼任教員
発達障害教育指導法（２）	阿部利彦教授
発達障害の判定とその教育的対応Ⅰ	西永堅教授
発達障害の判定とその教育的対応Ⅱ	西永堅教授
教育実習（特別支援）	千田光久教授

### <教育学研究科>

#### ○小学校専修免許状

科目名	担当者
教育社会学特論	兼任教員
教育心理学特論	仁平義明教授
教育工学特論	斎藤俊則准教授
学校教育学特論	手島純教授
教育経営特論	兼任教員
発達教育学特論Ⅰ	兼任教員
教育相談特論	土岐玲奈講師
教材・授業研究特論Ⅰ	坂田映子教授
教材・授業研究特論Ⅱ	坂田映子教授
学校教育心理学特論	仁平義明教授
カリキュラム研究特論	兼任教員
教材・授業研究Ⅰ（言語）	兼任教員
教材・授業研究Ⅱ（数理）	西村哲雄教授
教材・授業研究Ⅲ（表現）	檜永卓三教授
教材・授業研究Ⅳ（スポーツ身体）	渋谷聡教授

#### ○特別支援学校専修免許状（領域：知的障害者）

科目名	担当者
特別支援教育特論Ⅰ	千田光久教授
特別支援教育特論Ⅱ	千田光久教授
発達臨床特論Ⅰ	西永堅教授
発達臨床特論Ⅱ	西永堅教授
認知発達特論Ⅰ	伊藤一美准教授
認知発達特論Ⅱ	伊藤一美准教授
認知心理学特論Ⅰ	伊藤一美准教授
認知心理学特論Ⅱ	伊藤一美准教授
発達障害教育特論	仁平義明教授
発達障害教育指導法特論	岩澤一美准教授
教育のユニバーサルデザイン特論	阿部利彦教授
発達障害教育支援方法特論	阿部利彦教授
ファシリテーション特論	三田地真実教授



応用行動分析学特論	兼任教員
発達障害と医療特論	兼任教員

<教育実践研究科>

○小学校専修免許状

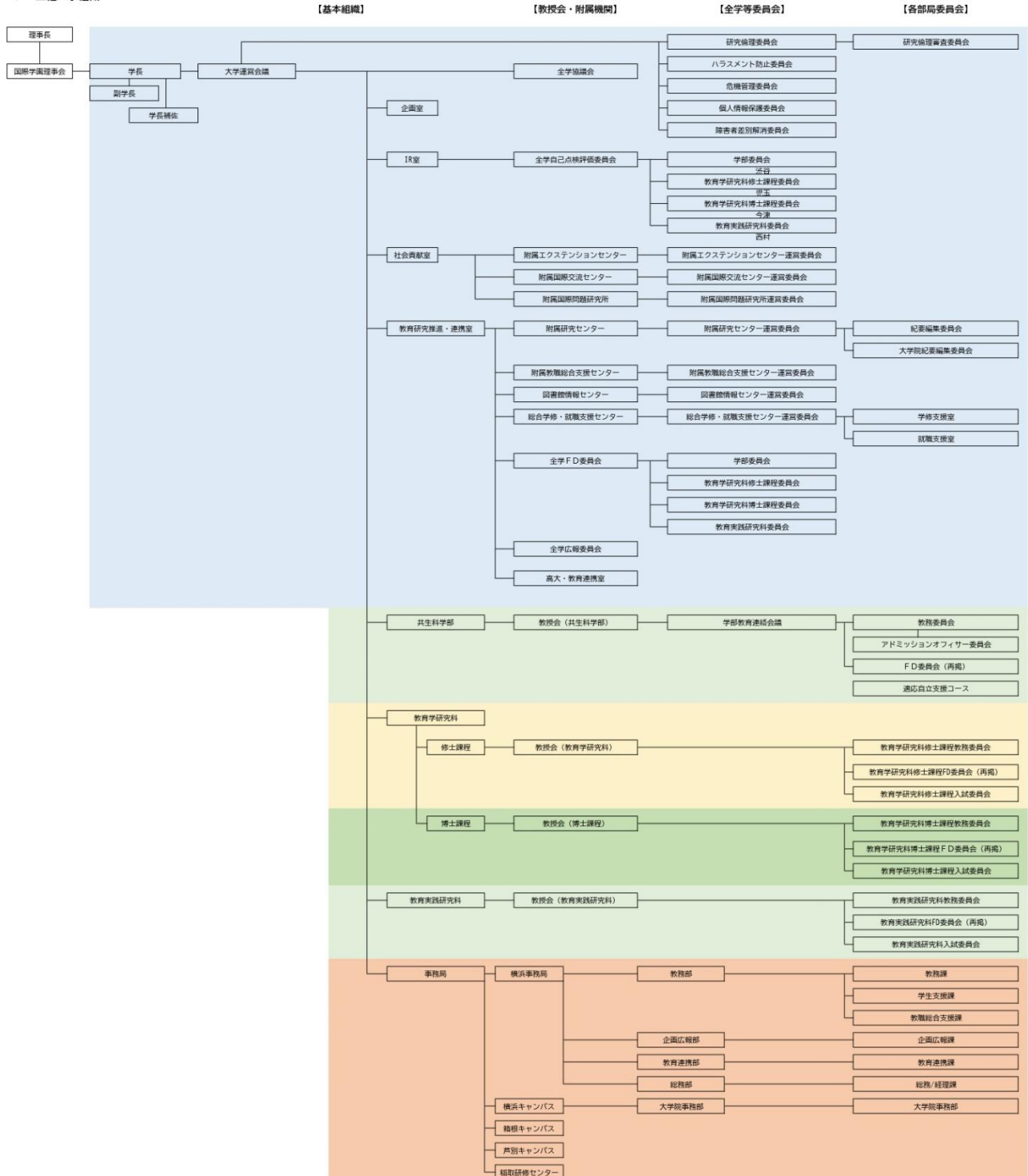
科目名	担当者
多文化共生教育特論	兼任教員
発達臨床実践特論	岩澤一美准教授
教育のユニバーサルデザイン特論	阿部利彦教授
教育法規特論	兼任教員
学級経営・学校経営特論	大隅心平教授
教育社会学特論	石原朗子教授
教育政策特論	兼任教員
教材・授業研究Ⅰ（表現）	樫永卓三教授
教材・授業研究Ⅱ（数理）	西村哲雄教授
教材・授業研究Ⅲ（言語）	兼任教員
教育方法学特論	仲久徳教授
ICT・情報資源活用特論	仲久徳教授
教育評価特論	兼任教員
カリキュラムデザイン特論	仲久徳教授
キャリア教育特論	土岐玲奈講師
学校教育相談特論	土岐玲奈講師
プレゼンテーション特論	兼任教員
教育と哲学特論	兼任教員

○中学校・高校専修免許状

科目名	担当者
多文化共生教育特論	兼任教員
発達臨床実践特論	岩澤一美准教授
教育のユニバーサルデザイン特論	阿部利彦教授
教育法規特論	兼任教員
学級経営・学校経営特論	大隅心平教授
教育社会学特論	石原朗子教授
教育政策特論	兼任教員
教育方法学特論	仲久徳教授
ICT・情報資源活用特論	仲久徳教授
教育評価特論	兼任教員
カリキュラムデザイン特論	仲久徳教授
キャリア教育特論	土岐玲奈講師
学校教育相談特論	土岐玲奈講師
プレゼンテーション特論	兼任教員
教育と哲学特論	兼任教員

# 2022 年度 星槎大学組織図

2022 星槎大学組織



## 星槎大学 附属教職総合支援センター規程

## (趣旨)

第1条 この規程は、星槎大学（以下「本学」という）学則第71条に基づき本学附属教職総合支援センター（以下「教職センター」という）の組織及び運営等に関し必要な事項を定めるものとする。

## (目的)

第2条 教職センターは、共生社会の創造に貢献する人材を輩出するという本学の教員養成の理念を実現するために、教職課程の整備充実を図るとともに、学内の全学的な支援・協力を得ながら教員養成を行うことを目的とする。

## (業務)

第3条 教職センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 教職課程のカリキュラムの編成及び研究開発に関する事項
- (2) 他大学等で修得した単位の認定に関する事項
- (3) 学生に対する教員免許の取得及び就職についての指導助言に関する事項
- (4) 学校、家庭及び地域社会の連携に係る調査研究に関する事項
- (5) 地域の教育実践の調査研究に関する事項
- (6) 教育委員会、地域教育機関及び教育現場との連携協力に関する事項
- (7) 教育実習・教職実践演習のプログラム開発と全学的な調整に関する事項
- (8) 教員免許状更新講習に関する事項
- (9) その他教職課程の運営について必要な業務に関する事項

2 前項第8号に規定する業務に関し必要な事項は、別に定める。

## (構成員)

第4条 教職センターに、教職センター長を置く。また、必要に応じ次の各号に掲げる構成員を置くことができる。

- (1) 共生科学科各専攻で教職課程に関わる専任教員のうちから専攻別に若干名
- (2) 教育学研究科、教育実践研究科で教職課程に関わる専任教員のうちから若干名
- (3) 教職関連科目の実習・演習担当教員の中から若干名
- (4) 事務担当の職員

2 前項各号に規定する構成員は、センター長が推薦する本学教職員のうちから学長が委嘱する。

(センター長)

第5条 センター長は、原則として本学の専任教授のうちから学長が推薦し、理事長が任命する。

- 2 センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 3 センター長は、教職センターの業務を総括する。

(教職センター運営委員会)

第6条 教職センターの円滑な運営を図るため、教職センター運営委員会を置く。

- 2 教職センター運営委員会委員長は、センター長が兼ねる。
- 3 教職センター運営委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(法令遵守義務)

第7条 構成員は、業務上知りえた情報の情報漏洩の防止に万全を期するとともに、法令や学内規程を遵守しなければならない。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、別に定める規程管理規程による。

附則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

- 改正 平成27年4月1日  
平成29年4月1日  
令和5年4月1日

## 星槎大学 附属教職総合支援センター運営委員会規程

### (趣旨)

第1条 この規程は、星槎大学(以下「本学」という。)附属教職総合支援センター規程(以下「教職センター規程」という。)第6条及び本学委員会規程の規定に基づき、本学附属教職センター運営委員会(以下「教職センター運営委員会」という。)の任務、組織その他に関し必要な事項を定めるものとする。

### (審議事項)

第2条 教職センター運営委員会は、教職センター規程第3条に規定する業務に関する事項について審議する。

### (組織)

第3条 教職センター運営委員会は、教職センター規程第4条に規定する教職員等をもって組織する。  
2 学長は、必要があると認めるときは、前項各号に掲げる委員以外の者を委員に加えることができる。

### (会議)

第4条 教職センター運営委員会は、必要に応じて開催する。  
2 委員長は、会議を招集し、その議長となる。  
3 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。  
4 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。  
5 前項の場合において、議長は、構成員として議決に加わる権利を有しない。

### (事務)

第5条 教職センター運営委員会の事務は、事務局がこれを行う。

### (規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、別に定める規程管理規程による。

### 附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

改正 令和2年4月1日

## 教職課程会議（開催要項）

令和 5 年 3 月 24 日

## 星槎大学 非常勤・特任講師会議 実施要項

学部教務委員会

1. 日時 令和 5 年 3 月 25 日(土) 13:00～16:00

2. 開式方法 Zoom による自宅からの参加

## 3. 目的

- ① 学習指導・評価のあり方について周知徹底する。
- ② 学生指導に関する意見交換の場とし、より良い指導の方向を探り充実を図る。
- ③ 非常勤講師、特任講師、専任の教職員間の親睦・交流を図り、今後の教育改善の全学的充実を図る。

4. 参加者 非常勤講師・特任講師・専任教員・事務局職員

## 5. 時程

時間	予定
13:00 ～14:30	全体会(司会:服部) ZOOM: 0. 開会アナウンス 1. 挨拶(学長) 2. 共生科学部について(学部長) 3. 教務について(教務委員長) 4. 教職について(教職総合支援センター長) 5. 総合学修・就職支援センターの業務について(総合学修・就職支援センター長) 6. 授業改善について(FD委員長) 7. ハラスメントについて(ハラスメント防止委員長) 8. 交通費等の費用請求について(総務部長) 9. 質疑応答 10. 閉会アナウンス

14:30 ~14:40	~休憩~	
14:40 ~16:00	14:40~16:00 分科会 【司会】『記録』 第1:共生科学専攻/教育【服部】『五道』 第2:共生科学専攻/社会、公民、地歴【堀川】『椎橋』 第3:共生科学専攻/環境・国際【大嶋】『榎本』 第4:共生科学専攻/特別支援教育【伊藤一美】『小西』 第5:初等教育専攻【齋藤】『酒井』 第6:福祉専攻【堀越】『早川』 第7:スポーツ身体表現専攻【秋澤】『酒井慎』 第8:グローバルコミュニケーション専攻【大和】『石原』	ZOOM ID パスコード
16:00 ~17:00	※希望者のみ グーグルクラスルーム、グーグルフォーム他についての相談会	

※分科会ごとに終了次第解散

※ご自身の分科会は別紙にてご確認ください。

#### 6. 教員ハンドブック・学生ハンドブックについて

学生ハンドブック、教員ハンドブック、紀要は教職員連絡ルームをご覧ください。大学パンフレットは本学ホームページにデジタルパンフレットがございますので併せてご覧ください。

#### 非常勤・特任講師会議 全体会タイムスケジュール

時間	持ち時間	内容	担当
13:00~13:05	5分	1. 挨拶	山脇学長
13:05~13:15	10分	2. 共生科学部について	渋谷先生
13:15~13:30	15分	3. 教務について	渋谷先生

13:30～13:40	10分	4. 本学における教員養成の実態と今後の課題について	手島先生
13:40～13:55	15分	5. 総合学修・就職支援センターの業務について、合理的配慮等について	千田先生
13:55～14:05	10分	6. 授業改善について／授業改善アンケートの変更について	高木先生
14:05～14:15	10分	7. 本学のハラスメント防止体制と特徴	嶋田先生
14:15～14:25	10分	8. 交通費等の費用請求について	大川総務部長
14:25～14:30	5分	9. 質疑応答(時間調整)	服部

#### 分科会について

- ①教職課程別だけではなく、共生科学専攻は分野別とした。
- ②全体的なテーマは設けず、非常勤・特任の先生方からの質問や意見について、本学の方針を踏まえて回答していく。

#### GC、GF 他相談会について

- ①これまでの研修会などで質問できなかったことを個別に対応していく。
- ②人数が多い場合、目的別にブレイクアウトセッションで対応する。

※参加者：LMS ワーキングメンバー、グループリーダー、E スタッフ



令和 5 年 2 月 吉日

非常勤・特任講師の皆さま

星 槎 大 学

学 長 山 脇 直 司

### 令和5年度 星槎大学 非常勤・特任講師会議開催のお知らせ

拝啓 早春の候 皆さまにおかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は、本学学生へのご指導を賜り、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。さて、下記日時において令和 4 年度の総括及び令和 5 年度に向けての情報共有をはかるべく非常勤講師の皆様と打ち合わせの機会を設けたいと存じます。

つきましては、時期柄ご多用中とは存じますが、下記の通り実施いたしますのでご臨席賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

#### 記

1. 日 時 令和 5 年 3 月 25 日(土) 13:00～16:00
2. 開催形式 インターネット配信のみ
3. 配信方法 テレビ会議アプリケーション Zoom を利用したテレビ会議方式
4. 目 的
  - ① 令和 4 年度の総括及び令和 5 年度に向けての情報共有
  - ② 学生指導に関する意見交換等による指導の充実
5. 参 加 者 専任教員・非常勤講師・事務局職員
6. 内 容

	接続先／内容
12:30 ～	接続テスト 12:00

13:00 14:30	非常勤・特任講師会議 全体会(全員)
14:30 14:40	～休憩～
14:40 16:00	分科会 第1:共生科学専攻/教育 第2:共生科学専攻/社会、公民、地歴 第3:共生科学専攻/環境・国際 第4:共生科学専攻/特別支援教育 第5:初等教育専攻 第6:福祉専攻 第7:スポーツ身体表現専攻 第8:グローバルコミュニケーション専攻
16:00 17:00	グーグルクラスルームやグーグルフォームを含む総合的な質疑応答 *希望者のみ

## 7. ご準備いただくもの

・教員ハンドブック令和5年度版

お手数をおかけしますが、ご臨席の可否につきまして、回答フォームにて3月11日(土)までにご連絡くださいますようお願い申し上げます。

参加申込みいただきました先生方に当日参加いただきます分科会番号と分科会接続先をお知らせいたします。

ISSN 2432-7697

# 星槎大学教職研究

第8巻

星槎大学教職総合支援センター

## 「星槎大学教職研究」第8巻 目次

### <研究ノート>

実技を伴うハイフレックス授業の課題と改善策について

ースポーツ(1)、(2)を例としてー 渋谷 聡 …… 1

保健授業における「主体的・対話的で深い学び」を促す教材づくりの考え方

高木由起子 …… 9

保健授業における多様な性をどう教育で扱うか

高木由起子 ……17

小学校家庭科(ご飯とみそ汁)における情報通信技術の活用

ープログラミング教材《炊飯器シミュレータ》の活用を通してー

横山美明 ……25

小学校の体育における健康への取り組み

ー暑熱環境に考慮した保健授業の在り方についての検討ー

服部由季夫 ……33

学校運営協議会の成果と課題 ー実践を振り返り、地域学校協働活動を見通すー

北村克久 ……41

多様な生徒が在籍する高等学校における統合的フォニックスの実践

本 純佳 ……49

通信制高校における主体的な学びを高めるための環境づくりに関する一考察

古川 潔・石原朗子 ……57

高校生の小論文指導が進路形成や自己発達として果たす効果と役割と教育相談との関係性

斎藤やす子 ……65

### <報告>

学校ボランティアとしての探究

石田 文 ……71

星槎大学教職総合支援センター 2022年度報告

……75

「星槎大学教職研究」投稿規定・「星槎大学教職研究」執筆要領

……77

編集後記

……80